

地区別ドラフト指名ランキング	ドラフト関連度
34位タイ 奈良県 9人	総合 C
36位タイ (8人)	投手 C
36位タイ 愛媛県 8人	野手 C

香川県

7月9日～23日(レクザムスタジアムほか)

昨年より小粒も個性派や素材型が楽しみ
今夏にも未来にも榮譽の雨を降らせるか

投手編

個性が光る投手たち

香川には全国に誇れる精密系右腕がいる。その名は県最東端・三本松の佐藤圭悟。体格こそ恵まれていないが、常時130キロ後半ストレートの威力、「ボールを常に握って、キャッチボールで試してきた」7種類を操る変化球に、勝負所での闘争心。制球力は当然として、その他の能力もどれも申し分ない。

中南米系剛腕は武田玄(志度)だ。極端なインステップ、上半身主導にもかかわらず、突き刺さるストレートは最速144キロを叩き出す。いずれも最速130キロ後半を出す富田龍、鎌田大輝との

右腕3枚が、32年ぶりの甲子園出場へのカギとなる。

今年の香川は左腕も豊富だ。元根哲輝(尽誠学園)は先輩の土肥星也(ロッセ)の系譜を辿りそうな伸びしろを持つ。朝倉佑哉(高松商)は普段は右翼手も、マウンドに立てば130キロ中盤のストレートを投げる。細川翔太(高松一)は制球力さえ改善できれば、球持ちがいいストレートが生きるはず。山田倫(四国学院大香川西)も最速136キロのストレートが持ち味だ。

その他には、183センチながら技巧派に生きる道を見出した宇良康太郎(大手前高松)、130キロ中盤を常時出す島田涼也(多度津)、打者のタイミングを巧みに

注目投手



佐藤圭悟(三本松)

外す西山諒祐(坂出)らも注目右腕だ。

2年生右腕も好素材が目白押し。二賀湊大(ソフトバンク)さんの握りを参考にしている」という大前輝明(丸亀城西)は初速と終速の差が少ないストレートが武器。松岡志祐(高松商)、東山玲士(丸亀)、中岡一輝(小豆島中央)はいずれも最速130キロ後半のストレートを投じ、山上達貴(藤井)はサイドハンドから変幻自在のシンカーで昨秋県ベスト4進出の原動力となった。

野手編

火を噴け! 英明の大砲2門

例年、強打線を形成してくる英明は今年も健在。右サイド投手と

香川県の主な注目選手

守備	名前	所属	学年	身長	体重	投打	評価	コメント
投手	藤井 拓海	英明	3	182	88	右右	C+	春の前にサイド転向。高校通算25本超の長打力との融合で未来切り拓く
投手	佐藤 圭悟	三本松	3	174	66	右左	C+	最速141キロストレート、七色の変化球を「強弱」する大人の組み立て
投手	武田 玄	志度	3	185	86	右右	C+	インステップかつ上半身主導でも最速144キロ。ポテンシャルは無量大
投手	元根 哲輝	尽誠学園	3	181	73	左左	C+	先輩・土肥星也(ロッセ)そっくりの細身左腕。バランスで投げよう
投手	細川 翔太	高松一	3	178	78	左左	C	腕がよく振れるため、最速139キロ以上の勢いを感じるストレート魅力
捕手	植田理久都	高松商	3	178	85	右右	C	右膝膝蓋骨脱臼から先日復帰。最後の夏に大いなる覚悟を持って臨む
一塁手	千原 凌平	英明	2	170	82	右右	C+	高校通算15本塁打超え。中学時の好敵手・野村大樹(早実2年)を意識
二塁手	坂口 大和	小豆島中央	3	165	57	右左	C	二塁手の守備技術は四国ダントツ。統合新設校主将で2度目甲子園狙う
外野手	橋口 怜衣	観音寺総合	3	180	85	右左	C+	鋭いスイングでライトスタンド一直接。「レイン」メーカーな爆発期待
外野手	川崎 愛弥	三本松	3	180	81	右左	C	パイパートレーニング含む冬練習で急成長。主軸として春県優勝に導く